

平成26年度 学校評価実施報告書

(別添様式)

3 2回目評価

<ul style="list-style-type: none"> ・重点評価项目について評価・改善していくための個別評価项目の設定 ・各项目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート项目や各種指標の設定 				<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理 										
1 確かな学力	分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">自己評価</th> </tr> <tr> <th>評価日</th><th>平成27年3月2日</th></tr> <tr> <th>評価者・組織</th><th>運営委員会</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分析 (成果と課題)</td><td>自己評価に対する改善策</td></tr> </tbody> </table>	自己評価		評価日	平成27年3月2日	評価者・組織	運営委員会	分析 (成果と課題)	自己評価に対する改善策
自己評価														
評価日	平成27年3月2日													
評価者・組織	運営委員会													
分析 (成果と課題)	自己評価に対する改善策													
言語活動の充実と授業改善	すべての教科において学びあい学習やグループワークを意識して取り入れる等を含めた授業改善。学力向上プロジェクト委員会の活発化	学校生活の向上と改善のためのアンケート調査	授業は分かりやすく工夫されている92%授業では話し合い活動を取り入れられている85%毎時間の授業で学習のねらいが示されている89%	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科でグループ学習、言語力の育成を意識して取り組めた。 ・学力向上プロジェクトや教科主任会において、学習確認プログラムや全国学力調査の分析や交流を図り、課題の共有に努めた。 ・研究授業や研究協議共に教員が目的、研究主題を意識して取り組むことが出来、より深く研究が進められた。 ・家庭学習の定着に向けて、ノート作りにポイントを付けて指導している。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">学校関係者評価</th> </tr> <tr> <th>評価日</th><th>平成27年3月9日</th></tr> <tr> <th>評価者(いずれかに○)</th><th>学校運営協議会 学校評議員</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者評価による意見</td><td> <p>・家庭学習の環境や家庭教育力の向上に向けた、様々な啓発や支援に対して出来る限り協力していく。</p> <p>また、工夫された授業の様子などから学力向上に向けた取組の意識の高揚を感じら事が出来る。さらに、取組を推進していくって欲しい。</p> </td></tr> </tbody> </table>	学校関係者評価		評価日	平成27年3月9日	評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員	学校関係者評価による意見	<p>・家庭学習の環境や家庭教育力の向上に向けた、様々な啓発や支援に対して出来る限り協力していく。</p> <p>また、工夫された授業の様子などから学力向上に向けた取組の意識の高揚を感じら事が出来る。さらに、取組を推進していくって欲しい。</p>	
学校関係者評価														
評価日	平成27年3月9日													
評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員													
学校関係者評価による意見	<p>・家庭学習の環境や家庭教育力の向上に向けた、様々な啓発や支援に対して出来る限り協力していく。</p> <p>また、工夫された授業の様子などから学力向上に向けた取組の意識の高揚を感じら事が出来る。さらに、取組を推進していくって欲しい。</p>													
読書活動の推進	朝読書の取組 昼休みや放課後の図書館開館 ブックフェアの開催 移動図書館	学校生活の向上と改善のためのアンケート調査	朝読書や家庭で進んでも読書をしている70%											
2 豊かな心	家庭学習の充実	毎日の英単語プリント 学習確認プログラムの活用	学校生活の向上と改善のためのアンケート調査	家庭学習を毎日進んで行っている64%学習確認プログラムを活用し計画的に学習している	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習を毎日進んで行っている64%学習確認プログラムを活用し計画的に学習している。 									
	温かな学校・学年・学級作り(協働の意識)	毎日の全員清掃の取組 様々な学校や学年行事の取組	学校生活の向上と改善のためのアンケート調査	温かな学校・学年・学級に近づいていると思う92%学校生活全般として楽しく充実している93%	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒個別の活動を行ない、達成感を持つことが出来るような取組を、計画的に且つ工夫していく事を推進していく。 ・生徒会活動をさらに活性化させていく。 ・道徳の教科化に向けて、しっかりとした実践を推進していく。 ・全校清掃の取組は継続して行い、生徒の協意意識を高める。 ・スマホやラインのトラブルが増加している中、情報モラルの向上を図ることで対応していく。 	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の中での生徒の活動の場を広げていくために協力出来ることは進めていきたい。 ・地元連等ともに協力を図りながら啓発活動を進めたい。 ・地域や保護者の方たちに、学校に足を運んでいただけるように様々な支援を行う。 								
	人権を尊重する意識の向上	人権教育 国際理解教育 道徳・教科を通した人権教育	学校生活の向上と改善のためのアンケート調査	いじめは絶対に許さないという意識であるが97%他者を思いやるなどの相手の立場になって考えた行動が出来ている91%										
3 健やかな体	規範意識の醸成	生徒会を中心とした様々な活動	学校生活の向上と改善のためのアンケート調査	校則はきちんと守っている92%先生や来校者への挨拶、礼儀、言葉使い、服装はきちんと出来ている91%	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒個別の活動を行ない、達成感を持つことが出来るような取組を、計画的に且つ工夫していく事を推進していく。 ・生徒会活動をさらに活性化させていく。 ・道徳の教科化に向けて、しっかりとした実践を推進していく。 ・全校清掃の取組は継続して行い、生徒の協意意識を高める。 ・スマホやラインのトラブルが増加している中、情報モラルの向上を図ることで対応していく。 	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭における基本的生活習慣を確立させることが重要であると感じる。 								
	基本的生活習慣の確立	生徒会活動の活性化による点検活動と呼びかけ・啓発活動	健康生活アンケート (小中連携)	朝食を毎日食べていますか86%平日ケータイ等の使用時間2、3時間以上29%	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校と連携し、共通のアンケートを実施した。保健室来室時の個別指導、保健便り、掲示物を利用しての集団指導、委員会活動を利用しての保健指導による取り組み、基本的生活習慣の実態把握と確立に努めた。 	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域、家庭と学校との連携を図るために、より支援を行っていきたい。 								
4 独自の取組	生徒十訓の取組	生徒十訓の日 生徒十訓ばっかり週間	学校生活の向上と改善のためのアンケート調査	生徒十訓を意識して学校生活を送っている83%	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生徒十訓」への意識がある程度定着し、その取組を基盤として、安定した学校生活に繋がってきている。 ・小中一貫教育校創設に向けて、研究授業や研究協議の相互参加、授業参観への参加等、連携を深めることが出来た。 	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会を中心に、さらに生徒自身が主体的に「生徒十訓」の取組を推進していく。 ・小中連携に関しては、小中一貫教育校創設に向けて、さらに細かく深い連携を推し進めていく。 								
	小中連携	小中各種主任会の実施 オープンスクールの実施												

4 総括・次年度の課題

- ・学力向上においては、2年生を中心として大きく前進はしている。授業作りや学習課題に対する取組などの成果だと思われる。しかし、学ぶ意欲や学習意欲になかなか繋がっていない、家庭学習時間の低さなど課題はまだまだ多い。これからも、自律的かつ協働的な学びというものを具現化していくことが重要である。
- ・心の育成は、人として自立していくための根幹であり、重點化していくなければならない課題である。生徒十訓の定着や道徳教育、生徒会活動の活性化に、より計画的かつ創意工夫が必要である。
- ・すべての学校生活の基盤は学級であり、一人一人が認められ、自己有感の高い学級には、温かさがあり、間違なく学力向上に直結すると思われる。その学級作りを重要な柱とした取組を推進していきたい。